

2021.7.19

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動



↑ 6/7 城址から大門に渡る陸橋
から見た林の色の変化 7/19→



黒々とした 夏色の林

足早に秋の気配も漂って・・・

キツネノカミソリ ほんのひと時の華

6月の初めにはまだ葉を伸ばしたばかりだったので、林の緑は彩とりどりだったのですが、夏になればどれも黒々としてきて、林の中も暗くなります。



そこに灯かりをともしたように橙色の花を咲かせるのが**キツネノカミソリ**。これ、一日花なのです。あまりにもきれいなので、もう一度見たいと思って翌日に行ってみると、花はもう枯れて見当たらないことから、昔の人は狐に化かされたと思ったのかもしれませんが。それでこの名がついたという説あり。

夏の花いろいろ



↑ ダイコンソウ



↑ チヂミザサ



↑ クサギ

もう実をつけ始めたウバユリ



ヌス
ビト
ハギ
→
←7/12



後の 7/19 は早くも峠を越して、実をつけるものも出てきました。

には満開だった大門地区のウバユリ、一週間

どんぐりの赤ちゃん育つ 「どんぐり」とはブナ科の植物の実のこと。赤塚公園でよく見られる、左からシラカシ、コナラ、マテバシイのあかちゃん。



↓大門のニリンソウ自生地では、上に紹介したクサギのそばでエゴノキも実を垂らしています。



その隣のウワミズザクラは赤い実をつけています。すぐに鳥に食べられてしまうのですが、今年はきれいに残っていました。

植物観察・記録活動（モニタリング）は

どなたも参加できます。

お問い合わせは都立赤塚公園サービスセンター

03-3938-5715 まで